



2026年5月27日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コスモ石油マーケティング株式会社

コスモ石油マーケティングが東京都の2026年度「国産 SAF 利用促進事業」に採択

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「当社」）は、国内初大規模生産による国産 SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の羽田空港における供給について、東京都の2026年度[国産 SAF 利用促進事業](#)（以下「本事業」）に採択されたことをお知らせします。

本事業は、航空燃料の脱炭素化のみならず、東京都の国際的な競争力向上、SAFの安定的な供給や市場の発展に寄与するため、国産 SAF と海外産 SAF との価格差を補助する「国産 SAF 利用促進事業」として、東京都が2025年度に全国で初めて開始したものです。当社は2025年度に続き※1、本事業の採択事業者に決定いたしました。

本事業を通じて、羽田空港へ就航する航空会社において国産 SAF のさらなる利用拡大が促進されるものと期待されます。

本事業の対象となる SAF は、2021年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され※2 取り組んできたものであり、国内で初めて大規模生産される国産 SAF です。持続可能な製品の国際的な認証制度「ISCC CORSIA 認証」「ISCC EU 認証」を取得しています※3。コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也）の3社により設立された合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志）が製造し、2025年度よりコスモエネルギーグループを通じて羽田空港に就航するエアラインに供給しています。

コスモエネルギーグループは「2050年カーボンネットゼロ」をめざし、日本初の国産 SAF 供給に向けてサプライチェーン構築を進めてまいりました。また、SAF 原料への再利用を目的として、サービスステーションでの廃食用油の市民回収実証を継続的に展開するなど、社会全体の機運醸成も後押ししています。今後も、脱炭素化や循環型社会の実現を重要なテーマと認識し、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざすとともに、引き続き航空輸送における SAF 利用を推進し、資源循環とサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 2025年5月9日プレスリリース
「コスモ石油マーケティングが東京都『国産 SAF 利用促進事業』の第1号に採択」
<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250509-01.html>
- ※2 NEDO ウェブサイト https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html
- ※3 2024年12月13日プレスリリース
「ISCC CORSIA 及び ISCC EU 認証(国際持続可能性カーボン認証)の取得について」
<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 横山
cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp